

標準 (N100) モデル **TW2A-N9LT**
 標準 (N150) モデル **TW2A-N9LTA**
 NFC搭載モデル **TW2A-NF9LTA**

取扱説明書

目次

A. はじめに

セット内容
 関連文書
 本機の特徴

B. 各部の名称・機能・ご注意

タブレット本体
 画面 / アイコン
 電源ランプ
 AC アダプター

C. 基本操作

AC 電源の接続 / 充電
 電源 ON / OFF
 スクリーンショット

D. 独自機能ガイド

AC 連動パワー OFF
 AC 連動パワー ON
 バッテリー保護モード

E. 応用操作

Wake on LAN
 キオスクモード
 シリアル番号のデータ表示
(N9LTA, NF9LTAのみ)

F. NFC の利用 (NF9LTAのみ)

利用可能な NFC 規格
 NFC 設定ツール (CCID/HID)
 NFC センター位置
 NFC オプティマイザー

G. 困ったときは

トラブルシューティング
 初期化 (回復・リカバリー)

H. 運用とメンテナンス

設置・使用環境
 メンテナンス

I. 技術情報、その他

公的規制など
 仕様、その他

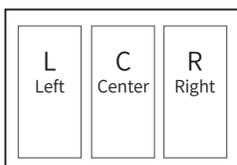
本説明書について

— 予めご了承ください —

本機は業務用機器のため、本書はシステムインテグレーター (Sier) または PC やスマートフォンの基本操作に慣れている方を前提としています。一般的な PC と同様の操作法は記載を省き、本機特有の内容のみを記載しています。システムに不慣れな方が実施すると製品の動作に重大な影響を与える設定もありますので、十分にご注意ください。本書の構成上、本機には直接関係のない文面が含まれることがあります。OS やドライバのアップデートにより、記載とは動作が異なる場合があります。

本書のページ構成

各ページは3ブロックで構成し、LCR で表記しています。1R は1ページ目の右列を意味します。



A はじめに

セット内容

— ご使用開始前にご確認ください —

- 本体
- ACアダプター (DC12V 2A)
- ACプラグヘッド
- ダウンロードガイド

関連文書

— ダウンロードのお願い —

本書および関連文書の記載内容に反した使用による不具合は、保証期間内であっても有料修理となる場合があります。使用前によくお読みいただき、必要なときすぐにご覧になれるよう以下のURL内のリンクから各関連文書をダウンロードのうえお手元に保管してください。

製品サポートTOPページ <https://ods.co.jp/support/top.html>

- 安全上・使用上のご注意
- 本書 (取扱説明書)
- 製品仕様書 (寸法図 各種ドライバ)
- 修理・保証規約
- サポートガイド
- 他



本機の保証期間、補修用性能部品の保有期間 (製品の修理対応期間)、本機に含まれる有寿命部品や消耗品の品目など、修理にとって重要な情報は「製品仕様書」の記載をご確認ください。

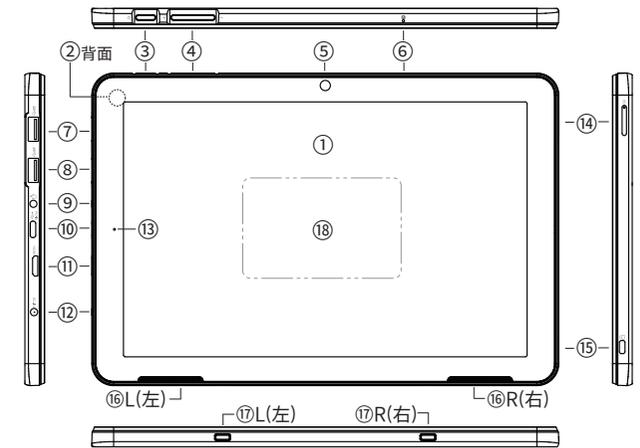
- ・有寿命部品や消耗品の部品交換は、保証期間内・外にかかわらず有料です。
- ・修理期間完了間近および完了済の製品は、上記製品サポートTOPページからリンクしている「製品別情報」にてご確認ください。

本機の特長

- ◆ **特定業務用途向け Windows 11 IoT Enterprise LTSC OS**
 お客様がご用意されたアプリを長期安定運用していただくのに適したOSです。
- ◆ **選べる給電方法 (ACアダプター / Power Delivery IN)**
 付属のACアダプターとPD (Power Delivery) 30Wタイプの使用も可能です。
- ◆ **業務用ならではの豊富な物理端子**
 Type-A端子、Type-C端子、mini HDMI出力端子など安定した接続が可能です。
- ◆ **長寿命な800サイクルバッテリー**
 フル充電800サイクル経過時でも、初期性能の80%以上の駆動時間を維持します。
- ◆ **キッティングだけで実現できる各種BIOS設定**
 ・バッテリー保護モード (AC常時給電モード)
 ・AC給電連動パワーONモード
 ・AC給電連動パワーOFFモード ※当機能は、BIOS設定なしでも動作可能。
- ◆ **各種キッティング作業やカスタムBIOS開発を国内でサポート**
 上記以外でもお客様のご要望にきめ細かく迅速に対応できる、国内サポート体制です。
- ◇ **S/N・MACアドレス表示機能 (N9LTA, NF9LTAのみ)**
 デスクトップに用意されたreadmeへのショートカット内に、機器情報が入っています。
- ◇ **NFC/ICカードリーダライタ内蔵 FeliCa Mクラス対応タブレット (NF9LTAのみ)**
 交通系や電子マネーのFeliCaや銀行系や行政系のType-Bにも対応しています。
- ◇ **専用アプリ「NFCオプティマイザー」搭載 (NF9LTAのみ)**
 タブレットの運用に関するスタッフ業務をNFCで簡素化できるアプリを用意しました。

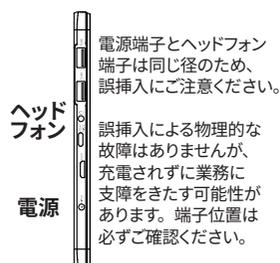
B 各部の名称・機能・ご注意

タブレット本体



- ① **ディスプレイ (LCD画面)**
 10点マルチタッチ対応
- ② **カメラ (背面)**
 [N9LT/N9LTA] 固定短焦点 2M pix
 [NF9LTA] オートフォーカス 5M pix
- ③ **電源ボタン**
- ④ **音量ボタン (+/-)**
- ⑤ **カメラ (前面)**
 オートフォーカス 5M pix
- ⑥ **内蔵マイク (モノラル)**
- ⑦ **USB端子1 (3.0 Type-A)**
- ⑧ **USB端子2 (3.0 Type-A)**
- ⑨ **ヘッドセット/ヘッドフォン端子**
 4極 CTIA規格 (単体マイク不可)
- ⑩ **USB端子3 (2.0 Type-C)**
 PD (15V対応 30W品) 給電端子兼用
- ⑪ **mini HDMI 出力端子**
- ⑫ **電源入力端子 (DC IN)**
- ⑬ **電源ランプ** (※4項参照)
- ⑭ **microSDスロットトレイ**
 別体トレイ式 ※NF9LTAは非対応
- ⑮ **セキュリティ・ロック・スロット**
 ケンジントン・セキュリティ・スロット規格
- ⑯ **内蔵スピーカー (ステレオL/R)**
- ⑰ **設置ガイドホール**
 お客様オリジナルのクレードル等で、位置決め用ガイドとして利用できます
- ⑱ **NFC読取り位置** ※NF9LTAのみ
 詳細は寸法図をご確認ください

電源の位置にご注意!

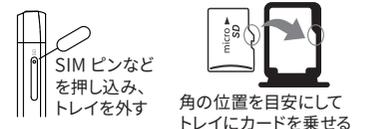


ヘッドフォン
 電源

電源端子とヘッドフォン端子は同じ径のため、誤挿入にご注意ください。
 誤挿入による物理的な故障はありませんが、充電されずに業務に支障をきたす可能性があります。端子位置は必ずご確認ください。

SD カード用トレイの紛失にご注意!

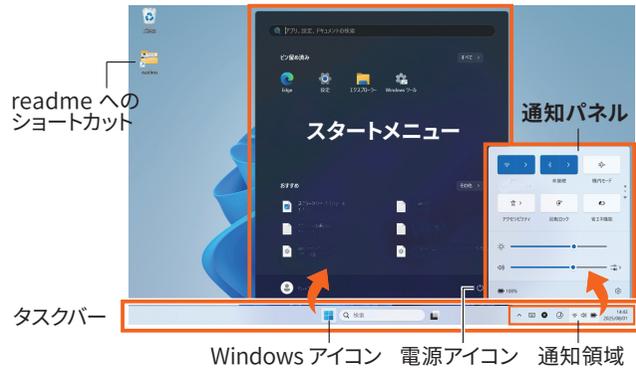
※NF9LTAは非対応
 本機の SD カードスロットはトレイ式です。PC によくある直接挿入スロットではありません。SIM ピンやクリップなどをトレイの穴に垂直に挿入することで、トレイを外すことができます。外したトレイに下記のように SD カードを乗せ、本体にトレイごと押し込んでください。トレイの紛失には十分ご注意ください。



SIM ピンなどを押し込み、トレイを外す
 角の位置を目安にしてトレイにカードを乗せる

画面 / アイコン

※ Windows 機の画面やアイコンの名称には複数の呼び方がありますが、本項では本書内で使用する名称を紹介します。
 ※ デスクトップ画面やアイコンは、機種やOSのバージョンにより異なります。



電源ランプ

	アダプター接続 (AC 供給) 時		アダプター非接続時	
	Power OFF	Power ON	Power OFF	Power ON
満充電時	● 消灯	● 緑点灯	● 消灯	● 緑点灯
充電中	● 赤点灯	● 橙点灯	● 消灯	● 緑点灯

スリープ中は、Power ON と同じ表示になります。
 電源ランプには以下の意味合いがあります。

- 緑点灯 : Power ON
- 赤点灯 : 充電中
- 橙点灯 : 充電中 ● + Power on ●
- 黒(消灯): Power OFF + 非充電(または満充電)中
- 赤点滅 : 電池残量が2%未満のため、起動できない状態です。アダプターを接続しても30分以上点滅が継続する場合は、当社カスタマーセンターにご相談ください。

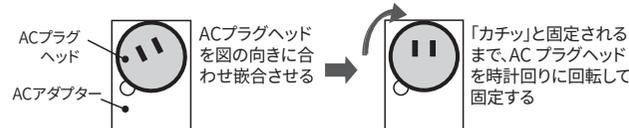
ACアダプター(付属品)

別部品	組立て後の各部の名称
-----	------------



ACアダプターの組立て

ACアダプターにACプラグヘッドを装着します。



C 基本操作

AC電源の接続 / 充電

本機の給電には、付属の AC アダプターの他、市販の PD アダプターを使用することができます。いずれの場合でもアダプターは壁コンセントなど適切な電源に接続してください。

(☞ 「E: その他」 > 「設置、使用環境」参照)



- 💡 AC プラグ部は定期清掃を実施してください。ほこりの蓄積、水濡れの放置などは火災の原因となります。
- 💡 たこ足配線はしないでください。特にブレーカーを ON にした瞬間、過大電流により発熱、発火の危険性が高まります。
- 💡 初めてお使いになるときや充電残量が少ないときは、30 分以上充電をおこなってください。
- 💡 充電残量が 0% のまま長期間使用されなかった場合は、充電時間が通常時よりも大幅に長くなる場合があります。
- 💡 本機に接続している外部 USB 機器の総和が過大な場合、AC アダプターを接続していてもバッテリー残量が減少したり、動作速度が遅くなることがあります。このようなときは、セルフパワー型 USB ハブを介して外部 USB 機器を接続することをお勧めします。
- 💡 オプションの Magconn 充電システムもご使用いただけます。

Magconn 充電システムのご使用について

店舗などに最適な自立型の充電クレードルとジャケットのシステムです。電源は PD アダプターを使用します。付属の AC アダプターを直接つなぐ場合より充電時間は長くなります。

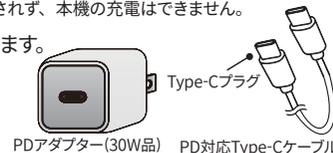


PD(Power Delivery) アダプターの選定について

PD アダプターは付属していません。ご使用の際は別途ご用意ください。本機専用 Magconn システムには同梱されています。

- PDアダプターは30W品(15V対応品)をご使用ください。30W未満品では充電電圧が足りず、充電されない場合があります。
- 充電用のケーブルは、PD対応品であることをご確認ください。非対応品ではPD充電用の信号が伝送されず、本機の充電はできません。

※当社にて推奨品をご案内しています。事前にお問い合わせください。



電源のON / OFF

電源 ON 電源ボタンを3秒長押し
 電源ランプの色が変化したら指を離します。AC 給電時の赤→橙の変化は表示の違いが判別しにくい場合がありますが、繰り返しご使用いただくことで徐々に違いが明確になり、スムーズにご使用いただけるようになります。

電源 OFF [方法①] Windows アイコン → 電源アイコン → シャットダウン を順次タップ

[方法②] 電源ボタンを3秒長押し → スライド式シャットダウン画面を指でスライド



強制終了 電源ボタンを10秒以上押し続ける
 通常稼働時には常用せず、本機がフリーズした場合などやむを得ないとき以外は実施しないでください。頻繁に実施すると、書き込み中のデータだけでなくレジストリやシステムファイルが破損し、起動時にエラーが出たり、Windows が起動しなくなることがあります。

スリープ ON/OFF 電源ボタンをカチッと短押しする
 ボタンを押すたびにスリープ ON/OFF を繰り返します。スリープ状態からの復帰には数秒かかりますので、焦らずにしばらくお待ちください。画面表示後はスライドアップ動作にてサインイン画面に遷移します。カチカチと何度も押ししてしまいますと、復帰しませんのでご注意ください。

💡 1日1回は**「再起動」**をおこなってください。
 本機は24時間連続稼働を前提とした設計ではありません。Windows 機では、適切な動作を維持するため、「シャットダウン→起動」ではなく、「再起動」を行うことが重要です。再起動により、動作中に発生する一時データ (garbage) の滞留を防ぎ、パフォーマンス低下や不具合の発生を抑制します。

初回起動時のご注意

- 初回起動時は AC アダプターより給電をおこない、電源を切らずに処理が完了するまでお待ちください。
- 初回起動時は、セットアップ処理や初期構成の実行により、通常よりも起動に時間がかかる場合があります。これは製品の仕様によるものであり、異常ではありません。画面の指示に従って操作を進めてください。初回起動後は、起動時間が短縮され、通常通りご使用いただけます。

バッテリー低残量時の動作について

- Windows OS はバッテリー残量が5%未満になると、OSの安全性のために自動的にシャットダウンします。
- バッテリーが2%未満の状態では、電源をONすることはできません。また、給電を促すために電源ランプが点滅しますので、アダプターを接続してください。

スクリーンショット

手順

- ① 電源ボタン と 音量マイナス (-) ボタンを同時押しする
- ② スクリーンショット実施後にスリープ状態になってしまった場合は、スリープ解除のために電源ボタン短押しし、数秒待つ
- ③ ピクチャ > スクリーンショット のフォルダにて内容を確認する

D 独自機能ガイド

AC連動パワーOFF

AC電源が切断されたことを検知し、本機が自動でシャットダウンする機能です。電源ブレーカーなどで一斉に電源を切るような運用をしている現場に適しています。

切断状態が30秒継続した場合のみ作動し、落雷などにより瞬間的にAC電源が不安定な状態になった場合は本機能は作動しません。



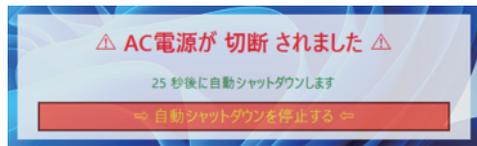
設定方法

「スタートメニュー」→「エクスプローラー」→「PC」→
「Windows11(C:)」→「ODS」→「LTSC」→
「setupACOFFshutdownFunc.exe」(管理者権限で実行)→
(AC給電停止時の自動シャットダウン機能を)「使用する」→「OK」

上記の手順のみで本機能は常駐され、動作するようになります。同フォルダ内にある「ACOFFshutdown.exe」を実行する必要はありませんが、当ファイルを削除しますと、本機能は実行できません。

動作イメージ

設定完了後にACの切断を検知すると、以下の画面が表示されます。



そのまま放置すると、約30秒でシャットダウン動作になります。カウントダウン中に給電を再開、または赤枠部をタップすることでシャットダウン動作を停止することも可能です。

本機能の使用を停止するには、前述の設定方法の手順通り進み(AC給電停止時の自動シャットダウン機能を)「使用しない」→「OK」と、設定を変更してください。

AC連動パワーON

AC電源から給電されている間は、常に本機は起動(パワーON)した状態にする機能です。電源ブレーカーなどで一斉に電源を入れるような運用をしている現場に便利です。



設定方法

キックティングによる設定になります。
ご希望の際は当社カスタマーセンターにご依頼ください。
本機能のご使用を停止される場合も、再度のご依頼をお願いします。

動作イメージ

AC電源が供給されている間は、常に本機はパワーON状態となり、本機の電源を手動でシャットダウンしても、自動的に再起動します。

バッテリー保護モード

AC電源を接続したまま運用したい環境に適した設定です。過充電・過放電を防ぎ、バッテリーに優しい充電残量の領域で運用します。

バッテリーが75%に達したら充電を停止し、使用などにより残量が50%未満まで減ると、自動で充電を再開します。AC電源が非接続の状態では残量が30%未満になった場合は、自動でシャットダウンさせる設定も可能です。

※ Windows OSにある「省エネ機能」などとは別の当社独自機能です。



設定方法

キックティングによる設定になります。
ご希望の際は当社カスタマーセンターにご依頼ください。
本機能のご使用を停止される場合も、再度のご依頼をお願いします。

バッテリー保護モード中の動作イメージ

- 充電の最大値が75%になり、それ以上の値にはなりません。
- 30%未満で自動シャットダウンする機能を使用しない場合、自動シャットダウンはWindows OSの設定(5%未満)が適用されます。
- 当モードは、電池残量により仕様が細分化されていますが、電池残量値は参考値であり、動作状況により多少の前後があります。

電源ランプ仕様

電池残量	アダプター接続 (AC 供給) 時		アダプター非接続時	
	Power OFF	Power ON	Power OFF	Power ON
満充電時	●消灯	●緑	●消灯	●緑点滅
50~75%	●赤 ●消灯	●橙 ●緑	●消灯	●緑点滅
SD*~50%	●赤	●橙	●消灯	●緑点滅
2~SD*%	●赤		●消灯 (●緑点滅)	
2% 未満	●赤点滅		●消灯	

SD*%: システムのシャットダウン設定値

バッテリー保護モードの「30%自動シャットダウン」を有効化している場合は30%、使用しない場合はWindows OSの設定(5%未満)が適用されます。

電源ランプの意味合いは通常モードと同じですが、さらに細かい区分があります。

- 緑点灯 : Power ON
- 赤点灯 : 充電中
- 橙点灯 : 充電中 ● + Power on ●
- 黒(消灯) : Power OFF + 非充電(または満充電)中
- 緑点滅 : アダプターの接続を促す表示です。低残量時にパワーONしようとしたときにも表示されます。
- 赤点滅 : 電池残量が2%未満のため、起動できない状態です。アダプターを接続しても30分以上点滅が継続する場合は、当社カスタマーセンターにご相談ください。

- スリープ時は、Power ON と同じ表示になります。
- 充電量が50~75%の区間では、50%未満からの充電状態か、75%からの放電状態かにより、電源ランプの光り方が変わります。

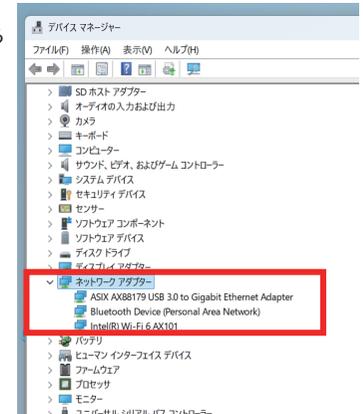
E 応用操作

Wake-on-LAN (WoL)

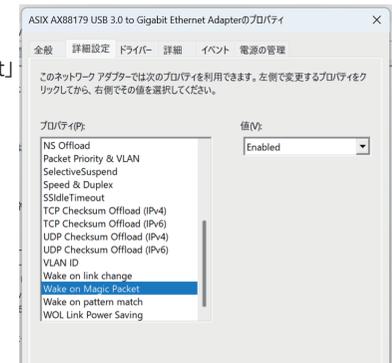
本機は遠隔地のPCからUSB-NIC (ネットワークインターフェースカード) 経由で、スリープ状態から自動的にパワーONさせることができます。

本タブレット側の設定

- ① デバイスマネージャーを開き、ネットワークアダプタの欄からWoLパケットを受信するアダプタをクリック



- ② アダプタを選択後「詳細設定」タブ → 「Wake on Magic Packet」を選択 → OKボタン



- ③ 「電源の管理」タブ → 赤丸二つの場所にチェック → OKボタン

この設定をするとスリープ状態からの解除ができます。



コントロール用 PC の設定

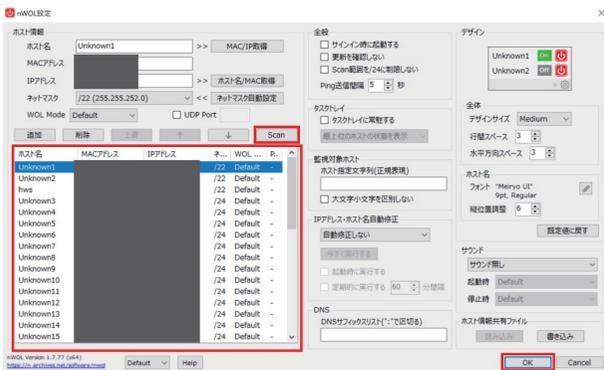
本項では、「nWOL」というツールを使用する場合を例に説明します。「nWOL」は、Wake on LAN技術を活用したPC遠隔起動ツールであり、n-Archives.netにより提供されています。

① コントロール用ソフトをPCにインストールする

「nWOL」を使用される場合、当社からは一切の配布等はおこなっておりませんので、お客様の責任において以下よりダウンロードをお願いします。

<https://n-archives.net/software/nwol/>

② インストール後、「SCAN」ボタンをクリックし、LANに接続されている起動中のホストのリストを表示させる



③ WoLを実行するホストのIPアドレスを確認し、リスト内の該当アドレスをクリック →OKボタン

④ 起動させたいホストの状態がOFF状態になっていることを確認後、電源マークをクリックしてWoL実行



⑤ コントロールしたいタブレット端末が起動されたことを確認し終了

△使用するUSB-NICの選定

当社でWoLの動作確認ができたUSB-NICは、ASIX製IC内蔵品です。

※当社にて動作確認済の推奨品をご案内しています。事前にお問い合わせください。

※ Wi-FiによるWoLには非対応です。

※ USB NIC経由でのWoLは、Wi-Fiドライバの「電源の管理」のチェックを外してください。

キオスクモード

Windowsタブレットでも、本機の機能を制限し、特定の用途にのみ利用するために、キオスク(KIOSK)モード化することができます。

前提条件

- 管理者権限、およびキオスク専用のユーザーアカウントが必要
- 複数アプリの使用は不可(1つのアプリのみ)
- アプリによっては動作しない場合もあります

手順①:ユーザーアカウントの準備

「設定」→「アカウント」→「家族とその他のユーザー」→「その他のユーザーをこのPCに追加」から、ローカルアカウントを作成(キオスク用)

手順②:キオスクモードの設定

「設定」→「アカウント」→「アクセスの割り当て(Assigned Access)」→「キオスクの設定を開始する」をクリック→作成したユーザーを選択→使用するアプリを選択(例:Microsoft Edge)

※Edgeの場合「デジタルサイネージ」または「インタラクティブモード」を選択可能です。

設定完了後、次回そのユーザーでログインすると、選択したアプリのみが起動され、他の操作は制限されます

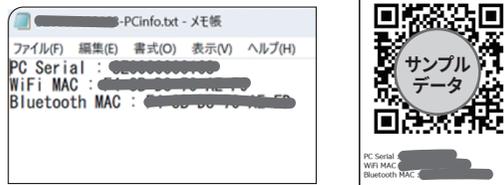
シリアル番号のデータ表示 (N9LTA, NF9LTAのみ)

本機のシリアル番号(製造番号)は、本体背面の定格ラベルに記載されていますが、タブレットジャケットを使用している場合や、テキストデータで複数台の端末を管理したい場合などには、以下の手順でシリアル番号のデータ表示や取得をすることができます。

表示手順

ホーム画面 → 「readme」へのショートカット →

「(シリアル番号)-PCinfo.txt」または「(シリアル番号)-PCinfo.png」



テキスト(.txt)の場合はファイルをコピー、画像(.png)の場合はQRコードに情報が埋め込まれているので、お手持ちの機器で読み取りを実施してください。

シリアル番号、Wi-Fi MAC、Bluetooth MAC の情報が含まれます。

※「readme」の作業フォルダは "C:\ODS\Doc\Support" です。



その他、Windows OSとして各種設定に対応しています。さまざまにご活用ください。

F NFCの利用 (NF9LTAのみ)

利用可能なNFC規格

■本機で読み取り可能な NFC 規格とその主な用途

種類	日本国内での主な用途
Type-A (MIFARE など)	キャッシュカード、クレジットカード、Taspo、汎用 NFC タグ など
Type-B	マイナンバーカード、住基カード、運転免許証、パスポート など
Type-F (FeliCa)	交通系 IC カード (Suica、PASMO など) 電子マネーカード ※M クラス取得済 (決済用端末推奨クラス)
Type-V	流通用 NFC タグ、遠距離 NFC タグ など

本機は、拡張 APDU(Application protocol Data Unit) をサポートし、行政系のマイナンバーカードによる本人確認やマイナ保険証の読み取りに対応しています。銀行系クレジットカードや FeliCa も利用可能で、タブレット内蔵のカメラも組み合わせれば、コード決済からタッチ決済まで、1台で柔軟にシステムを実現できます。

通常は小型サイネージとして運用する場合でも、従業員の方が日常的に行うメンテナンス作業を効率化するためのアプリ(「NFC オプティマイザー」)を搭載しており、日々の運用をサポートします。

CCID/HID モード切換えツール NFC 設定ツール

本機の NFC 読み取り機能は、デフォルトは CCID (Chip Card Interface Device) モードです。HID (Human Interface Device) モードでの運用が必要なアプリをご使用の際は、本アプリにて設定を切換えます。



主な機能は以下の通りです。

- HID モードへの切換え
- UID の送信書式の設定
- CCID モードへの切換え

本アプリ専用のマニュアルは、当社Webの製品サポートページに掲載しています。

NFC の読み取り位置表示 NFC センター位置



本機のカード読み取り位置はスマートフォンとは違い、画面側のほぼ中央にあります。NFC アンテナの正確な中心位置は、本アプリで座標をご確認ください。

製品本体を含む寸法は、当社 Web 内の寸法図にてご確認ください。



当社製独自アプリ

特許取得 [特許第 7692631 号]

NFC オプティマイザー for Windows

アイデア次第で
面倒な操作がワンタッチ！

本アプリは、NFC カードに機能を記憶させるのではなく、タブレット本体に、カードと機能を紐づけて記憶します。よって、お手持ちの NFC タグや ID カードとして配布されている NFC カードなどを利用して、タブレットの運用管理に使用することができます。

本アプリは CCID モードで動作しますので、「NFC 設定ツール」でのモード切換えは不要です。

本アプリで利用可能なNFC規格

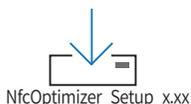
Type-A、**Type-F**、**Type-V** がご利用可能です。

Type-B やモバイル端末の NFC (利用のたびに UID が変わるタイプ) はご利用になれません。

管理専用の NFC カードを新規でご用意される場合は、本タブレットご購入時の担当営業までご相談いただけますと、動作検証済の推奨カードをご案内可能です。(Type-A/F/V 選択可能)

本アプリのインストール

NF9LTA は、デスクトップ画面に本アプリのインストーラーがあります。右のアイコンからインストールしてください。



プリセット機能

本機能は、業務用タブレットを運用する現場で日常的によく使われる機能を、NFC カードをタッチするだけで実行できるようにしています。

カードタッチで実現できる機能

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ① シャットダウン | ⑦ キーイベント |
| ② タブレットの再起動 | ⑧ フォルダクリア |
| ③ スリープ | ⑨ タッチパネル ON/OFF |
| ④ ディスプレイ ON/OFF | ⑩ テキスト貼り付け |
| ⑤ ファイルを開く | ⑪ スクリーンショット |
| ⑥ ミュート ON/OFF | ⑫ URL を開く |

- ⑬ マクロ (上記①～⑫の複数メニューの連続実行)

各機能の説明と動作イメージは、当社Webからご確認ください。
https://biz.ods.co.jp/page/app_nfc-optimizer#forwindows



NFCカードとプリセット機能の紐づけ手順

- 1) 機能を登録するカードに名前をつける
「お掃除用」「店長用」「応対完了時」など分かりやすい名称をつけ、先にラベルを貼っておくと便利です。

お掃除用

- 2) アプリを開き、「カードを登録する」→登録したい機能を選んでタップ
3) 登録したいカードを画面中央にかざす
4) 必要な情報を入力する

[カード識別名称]には手順1)で決めた名称を入力します。

それ以降の手順はアプリの説明に沿って進めていただけます。
以下、2機能のみ注意点を挙げておきます。

⑤「ファイルを開く」の場合

- 本設定を始める前に、開きたいファイルを事前にタブレット内に保存してください。
- [実行するファイル]で「選択」ボタンを押し、表示されたエクスプローラー画面から保存済のファイルを選択します。
- ドキュメントや画像などを規定のアプリで開く場合は、上記のファイル指定のみ実施し、[引数][作業場所]の設定は不要です。
- 以下のような特殊な動作をしたい場合は、必要に応じて [引数][作業場所] の設定を実施してください。

- ・バッチファイルやスクリプトを動かす
- ・コマンドラインオプションを付けたい
- ・相対パスを使う処理を含む
- ・ファイルを規定以外の指定のアプリで開きたい

⑦「キーイベント」の場合

- 本タブレットが表示するキーボードにはないキーイベントの登録には、外部キーボード (有線 or Bluetooth 接続) をご用意ください。

マクロ機能

本機能は、前述のプリセット機能を連続して最大 10 ステップまで実行することができます。

プリセット機能とほぼ同じ設定手順ですが、以下2点、マクロ特有の設定があります。

[遅延]

NFC カードがかざされたり、1つ前のステップが完了した後、現在設定している処理が実行されるまでの遅延時間を指定します。
1ステップあたりの最大の遅延時間は 999,999ms (約 16 分 39 秒) です。

[ポップアップの表示]

マクロ動作が目に見えない形で進行する場合など、実際に実行が開始/終了されたのかをポップアップで確認することができます。



マクロ機能の使用例 / 設定例

・社内共用で利用している端末で、使用するアプリに対するログイン時の ID とパスワードを自動入力したい

- [step1] ⑩ テキスト貼り付け: ID のテキストを入力
[step2] ⑦ キーイベント: 「Tab」を指定
[step3] ⑩ テキスト貼り付け: パスワードのテキストを入力
[step4] ⑦ キーイベント: 「Enter」を指定

[使用時] アプリのログイン画面で、ID 欄にカーソルが合っている状態で実行

・タブレットの拭き掃除の際、タッチパネルを OFF してから 1 分後には自動で元の状態に回復させたい

- [step1] ⑨ タッチパネル ON/OFF
[step2] ⑨ タッチパネル ON/OFF (遅延時間を 1 分=60,000ms に設定)

・お客様の対応が完了したら、指定のフォルダ内に残ったファイルを削除し、再起動させて次のお客様に備えたい

- [step1] ⑧ フォルダクリア: ファイル類を削除したいフォルダを指定
[step2] ② タブレットの再起動

・あるファイルの更新の状態を確認するために、ファイルを開いてから 30 秒後にスクリーンショットを撮りたい

- [step1] ⑤ ファイルを開く: 開きたいファイルを指定
[step2] ⑪ スクリーンショット (遅延時間を 30 秒=30,000ms に設定)

・ある URL を全画面表示にし、タッチパネルは OFF で、サイネージのように運用したい

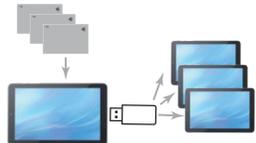
- [step1] ⑫ URL を開く: 開きたい URL を設定
[step2] ⑦ キーイベント: 「F11 (全画面表示)」を指定 (十分な遅延を設定)
[step3] ⑨ タッチパネル ON/OFF

いずれの場合であっても、遅延時間の設定には十分ご注意ください。
遅延時間が短すぎる場合、前の処理が完了する前に次のコマンドがスタートし、結果、正しい動作ができないことがあります。

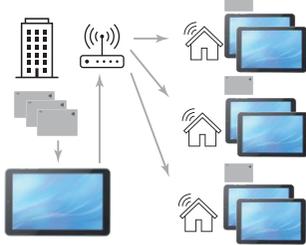
紐づけ(登録)済みNFCカード情報の他端末へのコピー

NFC カードと機能の紐づけをおこなった端末(親機)から登録情報をJSON形式のファイルでアウトプットし、他端末にインプットができます。複数のタブレットを運用する現場ではコピー機能をご活用ください。

●USBによるコピー (ローカル運用)



●配信によるコピー (大規模運用)



NFCカード情報のコピー手順

1) 親機の「登録済みカードの一覧」から、コピー元のデータを確認

2) アプリトップの「設定」から登録データを出力

「JSON ファイルをアウトプットする」の右にある「出力」をタップします。

エクスペローが開きますので、フォルダやファイル名を指定して保存します。



3) USB や配信などで子機のタブレットに JSON ファイルをコピー

4) ファイルがコピーされた子機のタブレットを開き、アプリトップの「設定」から登録データを読み出して適用

「JSON ファイルをインプットする」の右にある「選択」をタップします。エクスペローが開きますので、フォルダやファイル名を指定して開きます。

◆JSON で展開された機能以外に機能を追加して、全体適用したい場合

1) 元の JSON データが適用されたタブレットの中から1台親機を選び、新たにプリセット機能やマクロ機能を追加で登録します。

2) 上記のタブレットにて新たに JSON ファイルを作り直します。これにより、最初に展開された機能に新たな機能が追加された JSON ファイルができるため、全体に適用させます。

※新たに追加したい機能だけで JSON ファイルを作成した場合、データインプット時には上書きされるため、元の JSON データで展開された機能は使用できなくなりますのでご注意ください。

G 困ったときは

トラブルシューティング

充電されない

→AC アダプターをヘッドフォン端子に接続していませんか?
同一形状のため、必ず DC IN ジャックの位置を確かめて、正しく接続してください。

電源が入らない(電源ランプが赤点滅をしている)

→アダプターを接続しても30分以上点滅が継続する場合は、当社カスタマーセンターにご相談ください。

電源が入っているのに、画面が表示されない

→スリープまたはディスプレイ OFF の可能性があります。
-スリープの場合: 電源ボタンをカチッと短押しし、数秒お待ちください。
-ディスプレイ OFF の場合: 画面をタッチすると表示が復帰します。

機器が熱くなる

→本機は空冷ファンを搭載していないため、動作中に本体が温かくなることがありますが、異常ではありません。USB 端子に負荷の高い外部機器を接続している場合は、さらに温度が上昇しやすくなります。
ただし、触れた際にやけどの危険を感じるほどの高温になった場合は、速やかに当社カスタマーセンターへご相談ください。

ミラキャストで画面が映らない

→ミラキャストの利用には市販の受信アダプターまたは対応ディスプレイが必要です。一般的なミラキャスト送信機は最大解像度が1920*1080のため、ディスプレイの設定を「複製モード」にした場合、映像を伝送できない場合があります。送り出し側の解像度を1920*1080以下に設定してください。

HDMI 接続したモニターから音が出ない

→一部の PC 用4K モニターでは、音声出力されない場合があります。モニター側のドライバの更新や、本機のアップデートでも解決できないときは、音声の出力機器は本機に設定するなどの対応をお願いします。

リアカメラでバーコードや QR コードが読み取りにくい

→Windows が提供するプリインストール版のアプリで不具合がある場合は、適宜ドライバのアップデートを行うか、別のアプリのご利用をお試しください。

特定の機能(マイク、カメラなど)が正しく動作しなくなった

→OS やデバイスドライバの更新により、機能が正常に動作しなくなる場合があります。更新内容や端末の状態によっては、すべての端末で同じ症状が発生するとは限りませんので、以下の点をご確認ください。

- ・直前に Windows Update やドライバ更新が行われていないか
- ・アプリのアクセス許可(「設定」→「プライバシーとセキュリティ」→「マイク/カメラ」)がオフになっていないか
- ・セキュリティソフトが機能を制限していないか

■ OS 更新を元に戻す

直前に OS の更新が行われている場合は、「設定」→「システム」→「回復」→「前のバージョンの Windows に戻す」を実行し、更新前の状態で動作をご確認ください。

■ ドライバを元に戻す(ロールバック)

ドライバ更新が原因と思われる場合は、「デバイス マネージャー」の該当するデバイスにて、ドライバーを元に戻してください。

※「ドライバーを元に戻す」が選択できない場合は、以前のドライバが保持されていない状態です。

上記を実施しても改善しない場合は、当社カスタマーセンターまでお問い合わせください。



初期化(回復・リカバリー)

システムに不具合が生じた際の、初期化(またはリカバリー)方法をご紹介します。この手順により不具合がハードウェア要因ではないことを確認することもできます。ただし業務用端末では、システムの管理者によって、導入用途に応じた仕様のカスタマイズが行われている場合が多く、初期化の実施については、必ず**管理者に相談/依頼**をしてください。

△注意点

- ・システム管理者以外は、本操作はしない
- ・初期化前に重要なファイルはバックアップを保存
- ・Microsoft アカウントのパスワードやBitLocker回復キーを確認

基本的な初期化手順

- ① ACアダプタを接続し、給電する
- ② 「スタートメニュー」→「設定」→「システム」→「回復」
- ③ 「このPCをリセット」の横にある「PCのリセット」を選択
- ④ 以下のいずれかを選択:
 - 「**個人用ファイル**を保持する」:
ドキュメントや画像などは残るが、アプリと設定は削除
 - 「**すべて削除**する」: 完全に初期化(譲渡・廃棄時におすすめ)
- ⑤ 「ローカル再インストール」を選択(PC内の回復領域を使用)
- ⑥ 内容を確認し、「リセット」をクリック
- ⑦ 自動的に再起動 → 初期化が開始されます

△再インストールに関するご注意

- ・クラウドからのダウンロードはLTSC版ではサポート外です。
- ・再インストールのUSBメディア(有償)のご用意もあります。詳しくは担当営業までお尋ねください。

詳細情報は Microsoft の公式ページよりご確認ください。

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/windows-hardware/manufacture/desktop/push-button-reset-overview?view=windows-11>

OSが起動しない場合(電源は入る)

- ① ACアダプタを接続し、給電する
- ② 起動途中の画面で電源ボタンを長押しして電源を強制OFF
- ③ 再度電源を入れる
- ④ Windowsロゴが表示されたらすぐにまた長押しして強制OFF
- ⑤ この手順を2~3回繰り返す
- ⑥ 「回復」または「自動修復」画面が表示されたら、「トラブルシューティング」→「このPCを初期状態に戻す」に進む
ただし強制OFF自体もシステムの負担となりますので、緊急時以外は実行しないでください。

完全に電源が入らない場合(無反応・通電しない)

この場合は、電源ユニット・マザーボード・バッテリーなどの障害の可能性がありますので、当社カスタマーセンターにご連絡ください。

H 運用とメンテナンス

本書ならびに「安全上・使用上のご注意」や「製品仕様書」の記載事項に従ったご使用と、適切なメンテナンスを実施してください。

設置、使用環境

◆ 使用および保管時の環境温度/湿度を守る

本機には高速で動作する CPU や電源回路（内蔵バッテリーを含む）を搭載しており、製品全体で放熱をしています。製品仕様書にある環境温度 / 湿度をお守りいただき、かつ通気の良い熱が籠らない環境でご使用ください。パフォーマンスの低下や製品の短寿命化を防止することにつながります。

◆ 電源は 交流 100V (50/60Hz) の壁コンセントを使用する

◆ 延長コードや拡張タップの電流量には十分注意する

◆ ACアダプターや電源ケーブルは付属品/当社認定品を使用する

「IT 機器対応」として販売されている発動発電機や非常用バッテリー、AC アダプターなどであっても、電源の波形品質や予期せぬ電流制限などにより、正しく充電できないだけでなく、本機の電源回路の故障やバッテリーの短寿命化の原因になります。本機付属品（または当社認定品）と壁コンセントにてご使用ください。電源の延長コードや拡張タップ、壁コンセントやプレーカーの電流量にも十分ご注意ください。店舗等で複数台のタブレットを同時に充電する際、発煙、発火、火災、故障が発生する恐れがあります。周囲環境が原因で発生した不具合や事故に対し、当社は責任を負いません。

メンテナンス

毎日のメンテナンス

◆ 1日1回は電源OFFまたは再起動をする

本機は 24 時間連続稼働を前提とした設計ではありません。再起動時に不用データ (garbage) を削除するため、パフォーマンスの低下防止になります。

◆ バッテリー残量がゼロになる前に補充電をする

残量ゼロの過放電状態はバッテリーの短寿命化の原因になりますが、長期間充電し続けることもバッテリーへの負荷を高めますのでご注意ください。

定期的なメンテナンス

◆ 本機に保存したデータなどは定期的にバックアップを取る

お客様が保存したデータ類の不具合や消失は当社の保証対象外です。

◆ バッテリーでの稼働時間や充電に掛かる時間をチェックする

◆ バッテリーに膨張や異常発熱がないか確認する

◆ バッテリー残量がゼロ（過放電）の状態でも長期間放置しない

バッテリーによる本機の稼働時間が初期性能の 50% 以下にまで低下した時点が、バッテリーの交換時期（寿命）です。同稼働時間が 30% 以下にまで低下している場合、膨張や異常発熱が認められる場合、充電が進まなくなった場合は製品の使用を中止し、当社カスタマーセンターへバッテリー交換を依頼してください。（バッテリーの交換は保証期間内・外にかかわらず有料です）製品を使用せず長期保管する際は、保管前と保管後約 3 ヶ月ごとに 55 ～ 75% 程度まで補充電することをお勧めします。

製品のお掃除

◆ 軽い汚れにはよく絞ったマイクロファイバークロスなどを使用する

◆ 消毒には製品仕様書に耐薬性が記載されている薬剤を使用する

◆ 有機溶剤が含まれた化学そうきんなどは使用しない

お掃除前には誤動作防止のため本機の電源を OFF にすることをお勧めします。日々のクレンジングでは、柔らかい布に水や薄めの中性洗剤を軽く含ませ、固く絞ってからご使用ください。可燃性ガスを含むエアダスター、シンナーやベンジン、化学そうきんなどの有機溶剤が含まれているものは、さまざまな事故や不具合の原因となりますのでご使用をお控えください。

I 技術情報、その他

公的規制など

■ 認証取得証明の表示について

本機では、各国および地域や団体が定める規格の認証取得証明を、電子表示している場合があります。製品本体や本書に認証マークがない場合、下記の手順でご確認ください。

ホーム画面 → 「readme」へのショートカット → 「certification」ファイル

■ How to Confirm the Certification Marks

This device may electronically display certification and approval marks in accordance with the safety regulations and standards set by various countries, regions, or organizations. If the product itself or this manual does not bear any certification and approval marks, you can confirm those information by following the below steps;
Home screen → shortcut to "readme" → "certification" file

■ 電波法、電気通信事業法、高周波利用設備について

本機は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」を掲載しております。

また、NFC対応モデルでは、高周波利用設備として認可を受け、「総務省指定マーク」を取得し、お客様は本機の設定申請をせずにご利用いただけます。

各マークは「認証取得証明の表示について」の手順にてご確認ください。

本機内部の改造をおこなった場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

■ 無線LANおよびBluetoothワイヤレステクノロジーについて

2.4GHz帯無線LAN / Bluetoothワイヤレステクノロジー

本機は2.4GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の多くの無線機器にも同じ周波数が使われています。他機器との電波干渉を防止するため、「使用上のご注意」に記載された「電波・無線LAN・Bluetoothに関するご注意」も併せてご確認ください。

2.4 DS/OF 4

〈2.4GHz帯無線LAN〉 本機は、2.4GHz周波数帯を使用するDSSS変調方式/OFDM変調方式の無線装置で、与干渉距離が40mであることを示しています。
※ 使用できるチャンネル(ch)は、1ch～13chです。

2.4 FH 4

〈Bluetoothワイヤレステクノロジー〉 本機は、2.4GHz周波数帯を使用するFHSS変調方式の無線装置で、与干渉距離が40mであることを示しています。

※ 送信出力はPower Class1で通信範囲は見通し距離約10mです。

5GHz帯無線LAN 本機は5GHz帯無線LANを内蔵しています。

IEEE802.11a/n/ac/ax

使用可能チャンネル(ch)一覧

W52: 36ch, 40ch, 44ch, 48ch

W53: 52ch, 56ch, 60ch, 64ch

W56: 100ch, 104ch, 108ch, 112ch, 116ch, 120ch, 124ch, 128ch, 132ch, 136ch, 140ch, 144ch

※ W52とW53は、電波法によりご利用が屋内に限定されています。

■ 電磁妨害ノイズや静電気などへの耐性基準について

この装置はCISPR35(マルチメディア機器の電磁両立性 一イミュニティ要求事項一)適合品です。

■ 瞬時電圧低下について【バッテリー内蔵モデル】

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満たしております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。内蔵バッテリーの充電残量が不十分な場合、本規格の耐力（正常動作の継続時間）を満たしませんのでご注意ください。

■ 瞬時電圧低下について【バッテリーレスモデル】

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

■ 高調波電流規制について

JIS C 61000-3-2 適合品

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

■ 電波障害自主規制 (VCCI規格) について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書ならびに「使用上のご注意」に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

仕様・その他

■ 仕様・スペックについて

本機の仕様・スペックおよび寸法図などは別文書となっています。

本書の関連文書欄よりリンク先をご確認ください。

■ バッテリーサイクル（充放電サイクル）について

充放電サイクル表記は、満充電時の容量が初期性能の80%以上保持できる数値を指し、「合計で100%分の放電と充電」を1回(サイクル)とします。

*例: 0%から100%の充放電で1回、20%から80%では0.6回とカウントします。

詳細は「使用上のご注意」の記載をご確認ください。

・製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。 ・本書を含む各種マニュアルの内容は、予告なく変更する場合があります。 ・本書で使用している画像等はイメージであり、製品とは異なる場合があります。 ・本書を含む各種マニュアルの内容について、ご不審な点や誤り等がありましたら、当社カスタマーセンターへご連絡ください。なお、本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、各種マニュアルの記載内容にかかわらず当社はその責を負いません。 ・本製品に内蔵のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびそのマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約のもとにつき、同意書記載の管理責任者のもとでのみ使用許諾されます。 ・他社製周辺機器およびソフトウェアについては動作を保証するものではありませんので、各販売元にお確かめのうえご購入ください。 ・本書を含む各種マニュアルの無断転載を禁じます。 ・FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。 ・「商標について」ODSロゴは、オーディーエス株式会社の登録商標です。 ・Microsoft、Windows および Windowsロゴはマイクロソフト企業グループの商標です。 ・Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Inside ロゴ、Intel Processor は、Intel Corporation またはその関連会社の登録商標です。 ・microSD、microSDHC、microSDXC は、SD Card Association の商標または登録商標です。 ・USB Type-C および USB-CはUSB Implementers Forumの登録商標です。 ・Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc. USA の商標または登録商標です。 ・ KensingtonはKensington社の登録商標です。 ・HDMIおよびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。 ・MiracastはWi-Fi Allianceの登録商標です。 ・FeliCaは、ソニーグループ(株)またはその関連会社の登録商標または商標です。 ・MIFAREは、NXPセミコンダクターズ社の登録商標です。 ・Suicaは、JR東日本の登録商標です。 ・PASMOは、(株)バスの登録商標です。 ・QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。 ・Magconn®およびMagconnロゴは、Magconn株式会社社の商標または登録商標です。 ・InWOL®およびIn-Archives.netは、n-Archives.netの商標または登録商標です。 ・iASIXは、ASIX Electronics Corporation (亞信電子股份有限公司)の登録商標です。 ・その他の会社名、ブランド名、製品名、規格名は各社の商標もしくは登録商標です。 ・本書では®マーク、TMマークを省略しています。

©2025-2026 ODS Corporation

オーディーエス株式会社 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5

お問い合わせ先 カスタマーセンター

電話サポート窓口 ナビダイヤル 0570-001134

2026年02月

製品サポートTOPページ <https://ods.co.jp/support/top.html>

DCW223-01C